

(仮称) 新リサイクルセンター
整備及び維持管理委託事業
審査講評

令和7年1月23日（木）

ふじみ衛生組合

リサイクルセンター事業方式及び事業者選定審議会

ふじみ衛生組合（仮称）新リサイクルセンター整備及び維持管理委託事業（以下、「本事業」という。）における民間事業者の選定を公平かつ適正に実施するため、ふじみ衛生組合リサイクルセンター事業方式及び事業者選定審議会（以下、「審議会」という。）が設置された。

令和4年12月に第1回審議会を開催し、約2年間にわたり実施方針や入札説明書等について審議を重ねるとともに、1者の応募者の提案内容について厳正かつ公正な審査を行い、落札候補者を決定した。

本審査講評は、審議会におけるこれまでの審議や審査の過程と審査の結果について公表するものである。

令和7年1月23日

ふじみ衛生組合リサイクルセンター事業方式及び事業者選定審議会

会 長 橋 詰 博 樹

副会長 宮 脇 健 太 郎

委 員 小 暮 与 志 夫

委 員 野 本 修

委 員 山 口 直 也

(仮称) ふじみ衛生組合 新リサイクルセンター整備及び維持管理委託事業
審査講評

目 次

1	事業内容に関する事項	1
2	審査方法等	2
3	落札者決定の手順	4
4	審査手順	6
5	審査結果	10
6	価格審査	18
7	総合評価値の算定	18
8	落札候補者の選定	18
9	講評	19

1 事業内容に関する事項

(1) 事業名称

(仮称) 新リサイクルセンター整備及び維持管理委託事業

(2) 対象となる公共施設等の種類

一般廃棄物処理施設

(3) 公共施設等の管理者

ふじみ衛生組合 管理者 河村 孝

(4) 事業目的

平成6年度に建設されたリサイクルセンターの老朽化が進んでいることや、令和4年4月に施行された「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律（令和3年法律第60号）」に対応するため、ふじみ衛生組合では、新施設の稼働にあわせて製品プラスチックの資源化を開始する予定である。そのため、本事業では効率的な処理及びリサイクル率の向上につなげるための施設更新を目的とする。

(5) 事業内容

ア 施設概要

施設概要は下記に示すとおりである。

表 1 施設概要

施設の種類	マテリアルリサイクル推進施設
計画予定地	東京都調布市深大寺東町7丁目50番地30
建築構造	鉄骨造・一部鉄筋コンクリート造
処理能力	粗大ごみ処理系列 : 8 t/5 h 不燃ごみ処理系列 : 23 t/5 h プラスチック類処理系列 : 40 t/5 h ペットボトル処理系列 : 11 t/5 h びん・缶処理系統 : 13 t/5 h
処理対象物	・粗大ごみ ・不燃ごみ ・プラスチック類 ・ペットボトル ・びん ・缶 ・有害ごみ

イ 事業方式

本事業はDBM+運転支援方式により実施する。

民間事業者は、30年以上の施設稼働を前提とした本施設の設計・建設業務を行う。また20年間の運営期間にわたって、本施設の維持管理業務及びふじみ衛生組合が委託する運転事業者の運転員に対し、運転支援業務を行う。

ウ 事業期間

(ア) 建設期間（予定）

契約確定日の翌日～令和11年3月31日

（試運転期間：令和10年10月1日～令和10年12月31日）（3か月）

（完成/引渡日（外構工事を除く）：令和10年12月31日）

(イ) 運営（維持管理・運転支援業務）期間（予定）

令和11年1月1日～令和30年12月31日（20年）

2 審査方法等

(1) 入札の方法

入札の方法は、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の10の2に規定する総合評価一般競争入札方式により実施した。

(2) 落札候補者決定までの経過

落札候補者決定までの経過は、以下のとおりである。

表2 落札候補者決定までの経緯

日程	項目
令和4年12月1日(木)	第1回事業者選定審議会(諮問)
令和5年3月6日(月)	第2回事業者選定審議会
令和5年6月2日(金)	第3回事業者選定審議会
令和5年7月21日(金)	第4回事業者選定審議会
令和5年9月4日(月)	第5回事業者選定審議会(現地見学会含む)
令和5年12月21日(木)	第6回事業者選定審議会
令和6年2月7日(水)	第7回事業者選定審議会
令和6年2月27日(火)	入札公告及び入札説明書等の公表
令和6年2月27日(火)	第1回募集要項(参加資格申請)に関する質問受付期間
令和6年3月14日(木)	第1回募集要項(参加資格申請)に関する質問への回答期限
令和6年3月18日(月)	第2回募集要項(参加資格申請以外)に関する質問受付期間
令和6年3月29日(金)	参加資格審査申請書類の受付
令和6年4月19日(金)	第2回募集要項(参加資格申請以外)に関する質問への回答期限
令和5年5月10日(金)	提案概要書の受付締切
令和6年6月7日(金)	競争的対話の実施
令和6年8月26日(月)	入札書類の提出期限
令和6年9月4日(水)	入札不調
令和6年11月27日(水)	入札公告及び募集要項の公表(再公告)
令和6年12月3日(火)	募集要項に関する質問受付期間
令和6年12月5日(木)	募集要項に関する質問への回答期限
令和6年12月6日(金)	入札参加資格審査申請書類の提出期限
令和6年12月13日(金)	入札書類の提出期限
令和7年1月19日(日)	第8回事業者選定審議会(非価格要素審査)
令和7年1月20日(月)	価格審査及び総合評価
令和7年1月23日(木)	第9回事業者選定審議会(審査講評及び答申)

3 落札者決定の手順

(1) 審査機関

ふじみ衛生組合は、応募者の提案を審査するにあたって、審議会を設置した。

表3 審議会 委員名簿

役割	氏名	所属
会長	橋詰 博樹	元多摩大学 グローバルスタディーズ学部
副会長	宮脇 健太郎	明星大学 理工学部 総合理工学科
委員	小暮 与志夫	小平・村山・大和衛生組合 事務局
委員	野本 修	西村あさひ法律事務所・外国法共同事業
委員	山口 直也	青山学院大学大学院 会計プロフェッション研究科

(2) 審査方法

応募者の審査及び選定は図1及び図2のとおり実施した。

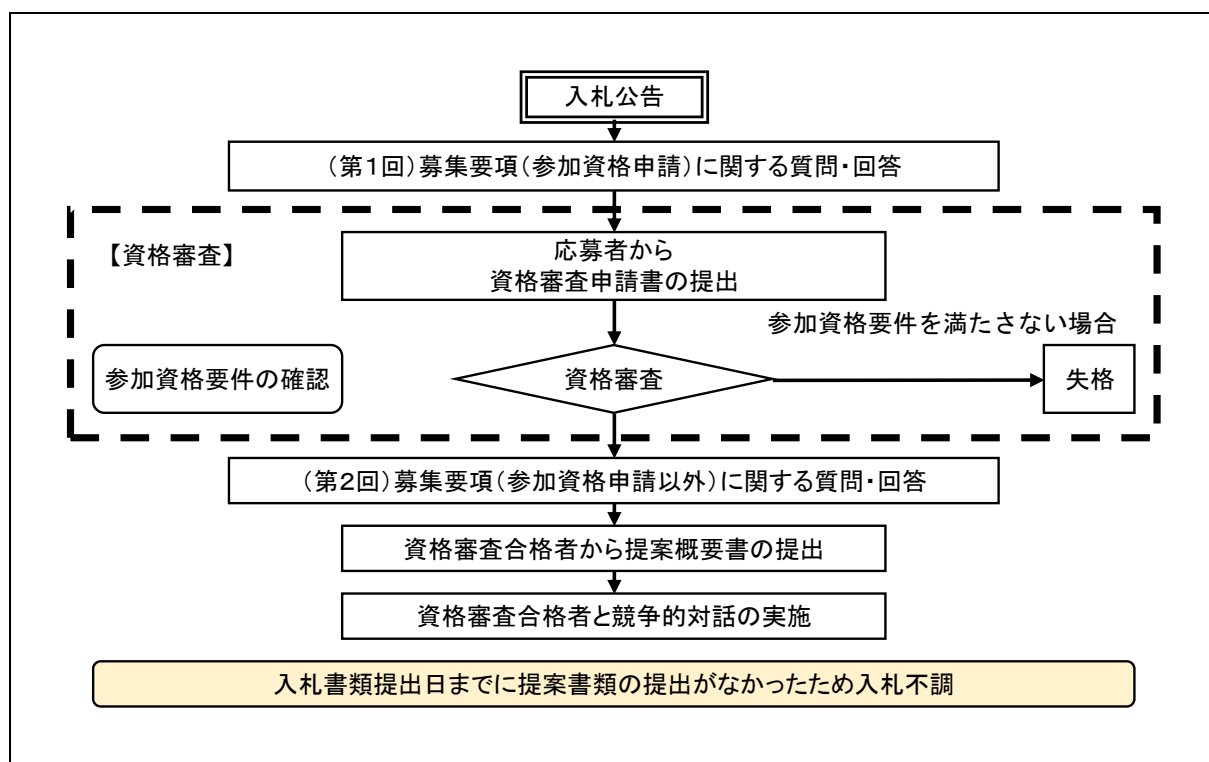


図1 初回公告時の審査プロセス

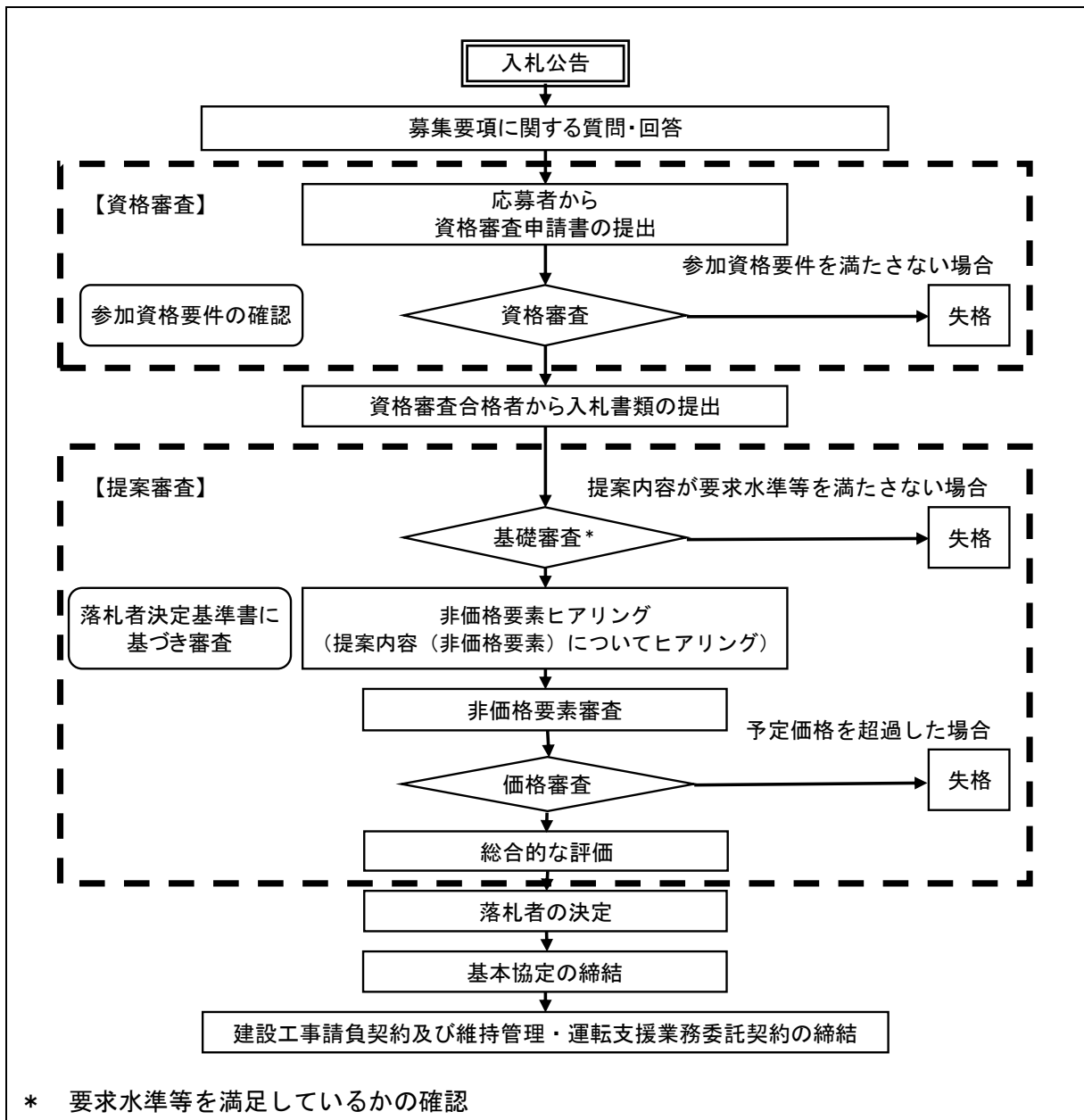


図2 再公告時の審査プロセス

4 審査手順

(1) 資格審査

審議会は、参加表明書及び参加資格審査申請書の提出書類により、入札説明書「4 参加資格要件」に示す入札参加者が備えるべき参加資格要件を満たしていることを確認し、合格者に対し審査結果を通知した。

(2) 提案審査

ア 基礎審査

審議会では、入札提出書類に記載された内容が落札者決定基準に示す基礎審査項目を満たしていることを確認した。確認内容は、表4のとおりである。

表4 確認内容

確認項目	内容
提出書類の確認	提出された入札提出書類がすべて揃っていること。提出書類において、書類間の整合が図れていること。
技術提案書と要求水準書の適合性	技術提案書が技術的観点からふじみ衛生組合の要求する性能要件を満足するものであること。
事業計画書の妥当性	運営費がコストや収益の面から事業としての妥当性を有していること。

(3) 非価格要素審査

非価格要素の合計点は50点とする。

審議会では、技術提案書における提案内容を表5に示す基準で評価し点数化する。

表5 評価項目及び配点

評価項目	評価の視点	評価内容	点数(点)
(1) 施設に関する事項			16.0
① 施設性能・施工計画	安定的な処理を継続するための、優れた施設性能・施工計画が提案されているか。	○建設工事請負事業の実施体制に関する提案 ○工期を遵守するための工夫・提案 ○各処理系列における処理方法の提案 ○安定的な処理を継続するための保管機能（ピット、ヤード等の貯留機能）における提案	3.0
② 騒音、振動、悪臭等防止対策	騒音、振動、悪臭等の公害防止基準を遵守し、周辺住民に配慮した施設が提案されているか。	○公害防止基準値を遵守するための設備設計及び基準値の提案 ○要求水準を上回る優れた設備設計の提案	2.5
③ 作業環境	運転員の作業環境について、適切に作業を実施し、かつ運転の作業性・操作性の高い施設・環境の提案がなされているか。	○暑さ、寒さ、騒音、振動、悪臭、照度に対応した作業環境の提案 ○運転員の作業性及び操作性に優れた設備設計の提案	3.0
④ 安全管理	リチウムイオン電池等による火災・爆発を含め、施設の安全管理・事故防止に配慮した優れた提案がなされているか。	○本施設の安全管理（火災、公害防止基準値等）、事故防止対策の提案	2.0
⑤ 全体施設配置・車両動線	搬入物の持ち込みや料金支払い等、本施設を利用する市民の利便性等に配慮した、優れた施設配置計画・動線計画について、具体的な提案がなされているか。	○具体的な施設配置計画 ○具体的な動線計画 ○料金支払い等における工夫	2.5
⑥ 施設の改造対応	法令や制度等の変更に伴う処理系列の増減を想定し、処理系列の見直し・変更に対して柔軟な対応ができる施設の提案がなされているか。 実行可能性があり、かつ自らが提案する処理フローに即した収集形態の提案がなされているか。	○将来の処理系列の増減に配慮し、処理系列の見直し及び変更が柔軟に対応できるような施設の提案 ○将来的なびん、缶及びペットボトルの袋混合収集を見据えた提案 ○破碎設備を導入せず不燃物処理を行う場合、有償での売却が不可能となった際の代替案の提案	3.0
(2) 運営に関する事項			14.0
① 維持管理計画	本施設を30年間使用することを前提とした、効率的な保守点検、修繕計画、更新計画ならびに適切な見積金額の提案がなされているか。	○30年間の主要機器の保守点検、修繕計画、更新計画、見積金額の提案	3.0
② 運転教育計画	運転職員の経験年数、技術力を踏まえた運転教育計画が提案されているか。	○教育計画の基本方針、新規入所者又は臨時の教育、定期的な教育の提案	3.0
③ 運転（操業）計画	適切な運転（操業）計画及び処理フローに基づき、各処理系列に適切な人員配置が提案されているか。	○年間運転（操業）計画、各処理系列（粗大系・不燃系）における人員配置計画の提案	2.5
④ リスクマネジメント	運転におけるリスクマネジメントが十分に検討されているか。また、想定されるトラブルに対し、適切なリスク分担の提案がなされているか。	○運転におけるリスクマネジメントの考え方 ○想定されるトラブル及び当該トラブルにおける適切なリスク分担の考え方	3.0
⑤ 災害時対応	災害時のごみの受入・処理体制、避難者への対応、また、災害時にごみ処理を実施しながら避難者を受け入れる場合の対応について、具体的な提案がなされているか。	○災害時のごみの受入・処理体制（運転職員体制、稼働時間）の提案（災害廃棄物処理も含む） ○本施設における避難者対応の提案 ○上記2点が同時に発生した場合の提案	2.5
(3) 地球環境への配慮			5.0
① 脱炭素への取組	CO ₂ 等の排出量を最少化するための方策（省エネルギー機器の採用等）について、建設・運営期間中ともに優れた提案がなされているか。	○建設・運営期間中におけるCO ₂ 等の排出量最少化のための提案（CO ₂ 等の総排出量）	2.5
② 処理対象物における資源化率の向上	処理対象物において、資源化率が高まるような具体的な処理方法等、優れた提案がなされているか。	○資源化する処理対象物及び資源化率の提案	2.5
(4) 地元経済に関する事項			2.0
① 地元経済への貢献	建設・運営期間を通じて、地元企業、地元住民の積極的な活用が提案されているか。	○建設・運営期間中における地元企業発注額、地元雇用数（土木建設、資材調達、事務員等）	2.0
(5) 見学者施設に関する事項			5.0
① 見学者ルート・見学者対応	処理フローを見やすく、理解できるよう、一筆書きで見学できるような見学者ルートが提案されているか。また、見学者対応における当組合等への協力について、具体的な提案がなされているか。	○具体的な見学者ルート（見学順路を含む）の提案 ○処理フローが良く見える見学者ルートの提案及び工夫 ○見学者対応における当組合等への協力内容の提案	2.5
② 環境学習機能	環境問題、再資源化等に関する知識や情報を発信する環境学習機能を有する施設であるか。また、見学者の年齢層を問わず、3Rへの理解を深めることができるような見学者設備の提案がなされているか。	○年齢層を問わず、環境問題、再資源化等、分かりやすく学べる工夫（展示物等及び適切な更新計画）の提案	2.5
(6) その他			8.0
① コストに関する考え方	本施設の設計・建設から解体までの30年間を見据えた、コスト削減の具体的な提案がなされているか。また、固定費及び変動費の考え方について具体的な提案がなされているか。	○設計・建設から解体までの30年間を見据えた、コスト削減の提案・工夫（AI・IoT等を活用した運転人員の省力化・省人化の提案も含む） ○物価変動が生じた場合における固定費と変動費に関する提案 ○計画処理量から増減した場合における固定費と変動費に関する提案	2.0
② SPC財務状況	SPC経営・収支計画について、経営の安定性確保のための優れた提案がなされているか。	○維持管理・運転支援事業の実施体制に関する提案 ○SPCキャッシュフロー計画、リスクヘッジ方策の提案	2.0
③ 地域住民への対応	本施設の近隣住民に親しまれる施設とするための具体的な提案がなされているか。	○近隣住民から親しまれる施設の提案	2.0
④ 意匠計画	周辺環境と調和した施設の提案がなされているか。	○周辺環境に調和した施設の提案	2.0
合 計			50.0

ア 評価基準及び得点化方法

審査項目における評価基準及び得点化方法は、表6に示すとおりである。

表6 評価基準及び得点化方法

評価	評価内容	採点の算出方法
A	非常に優れている	項目ごとの配点 × 1.00
B	AとCの間	項目ごとの配点 × 0.75
C	優れている	項目ごとの配点 × 0.5
D	CとEの間	項目ごとの配点 × 0.25
E	要求水準を満たす程度	項目ごとの配点 × 0.00

イ 非価格要素審査点の算出方法

非価格要素審査点は、以下の方法で算出する。

$$\text{非価格要素審査点} = \text{評価項目ごとの評価点の合計点}$$

(4) 予定価格

ふじみ衛生組合では、本事業の予定価格（消費税及び地方消費税相当額を含む。）は以下のとおり設定した。

予定価格：29,260,000,000円（消費税及び地方消費税相当額を含む。）

(5) 価格審査

価格審査においては、入札書に記載された入札金額が予定価格を超えていないことを確認したのち、入札価格については、表7に示す得点算定式により得点化した。

表7 得点算定式

予定価格以下の金額で入札した場合、予定価格以下の金額の場合は基礎点として15点を付与し、式1より小数点第三位を四捨五入する。

$$\begin{array}{l} \text{(式1)} \\ \text{価格審査点 (X)} = 15\text{点} + \frac{\text{(予定価格} - \text{入札価格)}}{1\text{億円}} \end{array}$$

式1により、価格審査点(X)が50点以上を獲得する応募者がいる場合、式2により小数点第三位を四捨五入する。

$$\begin{array}{l} \text{(式2)} \\ \text{価格審査点} = 50\text{点} \times \frac{\text{(予定価格} - \text{入札価格)}}{\text{(予定価格} - \text{最低入札価格)}} \end{array}$$

※ 最低入札価格：応募者の入札価格のうち最も低い価格

(6) 落札者の決定

「4(3) イ 非価格要素審査点の算出方法」で決定した非価格要素審査点と「4(5) 価格審査」で決定した価格審査点を加えて総合評価点を算定し、最も高い点数の者を落札候補者とした。

5 審査結果

(1) 応募者

令和6年11月27日にふじみ衛生組合が入札公告（再公告）を行い、令和6年12月6日までに参加表明書及び参加資格審査申請書を受け付けたところ、以下、1グループから応募があった。

表8 参加表明書及び参加審査申請書等提出グループ

グループ名	サルスベリグループ
代表企業・構成員	JFEエンジニアリング株式会社
協力企業	株式会社福田組 東京本店 林建設株式会社

(2) 資格審査

応募者から提出された入札参加申請書が入札説明書に示した入札参加資格を満たしていることを確認したため、令和6年12月9日に代表企業に対し、入札参加資格を有することを書面にて通知した。

表9 資格審査結果

評価項目	サルスベリグループ
共通要件	合格
本施設の設計・建設を行う者の要件	合格
本施設の土木建築工事を行う者の要件	合格
本施設の維持管理・運転支援業務を行う者の要件	合格

(3) 基礎審査

令和6年12月13日までに入札参加資格を有する1グループより入札書類が提出された。

ふじみ衛生組合にて基礎審査項目に沿った基礎審査を実施し、その結果を審議会にて確認した。入札提出書類を提出した1グループはふじみ衛生組合が要求する水準を満足していることが確認されたため、基礎審査に合格しているものと認められた。

表10 基礎審査結果

評価項目	サルスベリグループ
提出書類の確認	合格
技術提案書と要求水準書の適合性	合格
事業計画書の妥当性	合格

(4) 非価格要素審査

審議会は、令和7年1月19日に提案書の非価格要素審査を行った。審査に際し、審議会による提案書に関するヒアリングを実施し、入札参加者から提案内容の説明や委員による質疑を行った。

なお、審議会による提案書の非価格要素審査にあたっては、審査の公平性を期すため、すべての書面において企業グループ名は伏せ、表8に示す受付グループ名により識別して審査を行った。

表 11 非価格要素審査実施概要

実施日	令和7年1月19日（日）
場所	ふじみ衛生組合 研修ホール
内容	プレゼンテーション 20分間（1応募者あたり） 質疑応答 40分間（1応募者あたり）

ア 得点結果

非価格要素審査の得点結果は表12のとおりである。

表 12 非価格要素審査 得点結果

評価項目	評価の視点	配点(点)	サルスベリグループ
(1) 施設に関する事項		16.0	10.88
① 施設性能・施工計画	安定的な処理を継続するための、優れた施設性能・施工計画が提案されているか。	3.0	2.25
② 騒音、振動、悪臭等防止対策	騒音、振動、悪臭等の公害防止基準を遵守し、周辺住民に配慮した施設が提案されているか。	2.5	1.75
③ 作業環境	運転員の作業環境について、適切に作業を実施し、かつ運転の作業性・操作性の高い施設・環境の提案がなされているか。	3.0	2.10
④ 安全管理	リチウムイオン電池等による火災・爆発を含め、施設の安全管理・事故防止に配慮した優れた提案がなされているか。	2.0	1.30
⑤ 全体施設配置・車両動線	搬入物の持ち込みや料金支払い等、本施設を利用する市民の利便性等に配慮した、優れた施設配置計画・動線計画について、具体的な提案がなされているか。	2.5	1.38
⑥ 施設の改造対応	法令や制度等の変更に伴う処理系列の増減を想定し、処理系列の見直し・変更に対して柔軟な対応ができる施設の提案がなされているか。 実行可能性があり、かつ自らが提案する処理フローに即した収集形態の提案がなされているか。	3.0	2.10
(2) 運営に関する事項		14.0	9.06
① 維持管理計画	本施設を30年間使用することを前提とした、効率的な保守点検、修繕計画、更新計画ならびに適切な見積金額の提案がなされているか。	3.0	1.80
② 運転教育計画	運転職員の経験年数、技術力を踏まえた運転教育計画が提案されているか。	3.0	1.65
③ 運転(操業)計画	適切な運転(操業)計画及び処理フローに基づき、各処理系列に適切な人員配置が提案されているか。	2.5	1.63
④ リスクマネジメント	運転におけるリスクマネジメントが十分に検討されているか。また、想定されるトラブルに対し、適切なリスク分担の提案がなされているか。	3.0	2.10
⑤ 災害時対応	災害時のごみの受入・処理体制、避難者への対応、また、災害時にゴミ処理を実施しながら避難者を受け入れる場合の対応について、具体的な提案がなされているか。	2.5	1.88

評価項目	評価の視点	配点(点)	サルスベリグループ
(3) 地球環境への配慮		5.0	3.51
① 脱炭素への取組	CO ₂ 等の排出量を最少化するための方策(省エネルギー機器の採用等)について、建設・運営期間中ともに優れた提案がなされているか。	2.5	1.63
② 処理対象物における資源化率の向上	処理対象物において、資源化率が高まるような具体的な処理方法等、優れた提案がなされているか。	2.5	1.88
(4) 地元経済に関する事項		2.0	1.20
① 地元経済への貢献	建設・運営期間を通じて、地元企業、地元住民の積極的な活用が提案されているか。	2.0	1.20
(5) 見学者施設に関する事項		5.0	3.38
① 見学者ルート・見学者対応	処理フローを見やすく、理解できるよう、一筆書きで見学できるような見学者ルートが提案されているか。また、見学者対応における当組合等への協力について、具体的な提案がなされているか。	2.5	1.75
② 環境学習機能	環境問題、再資源化等に関する知識や情報を発信する環境学習機能を有する施設であるか。また、見学者の年齢層を問わず、3Rへの理解を深めることができるような見学者設備の提案がなされているか。	2.5	1.63
(6) その他		8.0	5.40
① コストに関する考え方	本施設の設計・建設から解体までの30年間を見据えた、コスト削減の具体的な提案がなされているか。また、固定費及び変動費の考え方について具体的な提案がなされているか。	2.0	1.20
② SPC財務状況	SPC経営・収支計画について、経営の安定性確保のための優れた提案がなされているか。	2.0	1.30
③ 地域住民への対応	本施設の近隣住民に親しまれる施設とするための具体的な提案がなされているか。	2.0	1.30
④ 意匠計画	周辺環境と調和した施設の提案がなされているか。	2.0	1.60
合 計		50.0	33.43

イ 講評

非価格要素審査における講評は、表13のとおりである。

表 13 非価格要素審査 講評

評価項目	評価の視点	講評
(1) 施設に関する事項		
① 施設性能・ 施工計画	安定的な処理を継続するための、優れた施設性能・施工計画が提案されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・代表企業を中心とした施工を確実にを行うための施工管理体制が具体的に提案されていた。提案内容は限られた工期遵守が期待できる点を高く評価した。 ・代表企業が提案する具体的な実績に基づく信頼性の高い処理システムを高く評価した。
② 騒音、振動、 悪臭等防止 対策	騒音、振動、悪臭等の公害防止基準を遵守し、周辺住民に配慮した施設が提案されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・公害防止基準値に対して、より厳しい管理基準値を設けるとともに要求水準書を上回る自主測定の提案を評価した。 ・施設稼働時における騒音、振動、悪臭、粉じん対策について、独自対策を含めた具体的な提案を評価した。
③ 作業環境	運転員の作業環境について、適切に作業を実施し、かつ運転の作業性・操作性の高い施設・環境の提案がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・良好な作業環境の確保に向け、騒音振動対策、臭気対策、暑さ・寒さ対策といった具体的な作業環境を向上するための方策を評価した。
④ 安全管理	リチウムイオン電池等による火災・爆発を含め、施設の安全管理・事故防止に配慮した優れた提案がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・代表企業の具体的な経験則に基づく、リチウムイオン電池発火、スプレー缶爆発等による施設の安全管理について、具体的な対策が凝らされた提案を評価した。 ・マテリアルリサイクル推進施設特有の重大事故及び災害を排除する設備設計を評価した。
⑤ 全体施設配置・ 車両動線	搬入物の持ち込みや料金支払い等、本施設を利用する市民の利便性等に配慮した、優れた施設配置計画・動線計画について、具体的な提案がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・焼却施設の収集車との交錯の回避、利用する市民の安全確保、車両渋滞の回避など創意工夫に富んだ動線計画を評価した。

評価項目	評価の視点	講評
⑥ 施設の改造対応	<p>法令や制度等の変更に伴う処理系列の増減を想定し、処理系列の見直し・変更に対して柔軟な対応ができる施設の提案がなされているか。</p> <p>実行可能性があり、かつ自らが提案する処理フローに即した収集形態の提案がなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 代表企業の豊富な施工実績に基づく改造工事期間の短縮化が具体的に提案されているため評価した。 びん、缶、ペットボトルの袋混合収集へ変更になった場合の処理フローについて、受入供給、選別、圧縮梱包の各処理選別段階に応じた具体的な提案がなされているため評価した。 有価物が逆有償となった場合の対応策について、具体的な方策が複数提案されており、確かな実行可能性を期待できる点を評価した。
(2) 運営に関する事項		
① 維持管理計画	<p>本施設を30年間使用することを前提とした、効率的な保守点検、修繕計画、更新計画ならびに適切な見積金額の提案がなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ストックマネジメントの考え方に基づく、具体的な維持管理計画を評価した。 20年間の維持管理のみならず、長期稼働を見据えた事業期間終了後の維持管理に配慮した具体的な引継ぎ計画を評価した。
② 運転教育計画	<p>運転職員の経験年数、技術力を踏まえた運転教育計画が提案されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 代表企業の豊富な実績に基づく、初期、定期、臨時に分けた具体的な教育計画を評価した。 特に操業開始後の定期教育について、安定した操業を行える運転事業者の技能向上が確かに期待できるものであり、提案内容を裏付ける代表企業の豊富な知識、経験を活用した具体的な提案を評価した。
③ 運転(操業)計画	<p>適切な運転(操業)計画及び処理フローに基づき、各処理系列に適切な人員配置が提案されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 運転(操業)計画及び処理フローに基づいた各処理系列に必要な人員配置を評価した。 欠員が発生した場合にも運転管理に支障を来さないような人員体制を評価した。
④ リスクマネジメント	<p>運転におけるリスクマネジメントが十分に検討されているか。また、想定されるトラブルに対し、適切なリスク分担の提案がなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> マテリアルリサイクル推進施設特有のリスクを分析、評価しており、リスクへの対応策が具体的であり、事業の確実な遂行が期待できる点を評価した。

評価項目	評価の視点	講評
⑤ 災害時対応	災害時のごみの受入・処理体制、避難者への対応、また、災害時にごみ処理を実施しながら避難者を受け入れる場合の対応について、具体的な提案がなされているか。	・災害時のごみの受入・処理体制（運転職員体制、稼働時間）、本施設における避難者対応、またその2点が同時に発生した場合の具体的な提案を高く評価した。
(3) 地球環境への配慮		
① 脱炭素への取組	CO ₂ 等の排出量を最少化するための方策（省エネルギー機器の採用等）について、建設・運営期間中ともに優れた提案がなされているか。	・建設及び運営期間中のCO ₂ 等の排出量を最少化に向け、効率的な施設設計や消費電力を最小化するための具体的な方策を評価した。
② 処理対象物における資源化率の向上	処理対象物において、資源化率が高まるような具体的な処理方法等、優れた提案がなされているか。	・本施設において資源化率を最大限に高めるための処理システムを高く評価した。 ・代表企業の施工実績に基づく資源化物の性状に応じた対策を高く評価した。
(4) 地元経済に関する事項		
① 地元経済への貢献	建設・運営期間を通じて、地元企業、地元住民の積極的な活用が提案されているか。	・具体的な地域経済貢献策、実効性のある地元雇用策に係る提案を評価した。
(5) 見学者施設に関する事項		
① 見学者ルート・見学者対応	処理フローを見やすく、理解できるよう、一筆書きで見学できるような見学者ルートが提案されているか。また、見学者対応における当組合等への協力について、具体的な提案がなされているか。	・見やすく一筆書きで見学できる見学ルートが提案されており、本施設及びクリーンプラザふじみの往来も考慮していることから、両施設を一体として見学しつつ、処理フローに沿った見学も可能とした提案を評価した。

評価項目	評価の視点	講評
② 環境学習機能	環境問題、再資源化等に関する知識や情報を発信する環境学習機能を有する施設であるか。また、見学者の年齢層を問わず、3Rへの理解を深めることができるような見学者設備の提案がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・充実した見学者設備、体感型設備による環境学習に係る提案を評価した。 ・来場者が分け隔てなく楽しみながら学べる配置動線やコンテンツを評価した。
(6) その他		
① コストに関する考え方	本施設の設計・建設から解体までの30年間を見据えた、コスト削減の具体的な提案がなされているか。また、固定費及び変動費の考え方について具体的な提案がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・本施設のライフサイクルコストを考慮した代表企業の確かな経験に基づくコスト低減策を評価した。
② SPC財務状況	SPC経営・収支計画について、経営の安定性確保のための優れた提案がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・SPCの残存リスクを極小化する体制が提案されており、経営計画・収支計画の安定化に向け、応募グループ独自の提案を評価した。
③ 地域住民への対応	本施設の近隣住民に親しまれる施設とするための具体的な提案がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上を活用した地域住民に親しまれる施設という発注者の要望に合致した提案を評価した。 ・近隣住民から親しまれる施設とするための具体的な独自提案を評価した。
④ 意匠計画	周辺環境と調和した施設の提案がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・本施設の近隣に位置する公共施設やクリーンプラザふじみとの調和を意識した意匠計画を高く評価した。 ・敷地東側の外構整備について、市民が憩いの場として活用できる具体的な提案を高く評価した。

6 価格審査

入札提出書類を提出した入札参加者の立会いのもとで令和7年1月20日に開札を行い、予定価格の範囲内であることを確認した。

審議会は開札結果の報告を受け、価格審査にて得点化を行った。得点は表14のとおりである。

表 14 価格審査における得点結果

グループ名	代表企業	入札価格（税込）	得点（50点満点）
サルスベリグループ	JFE エンジニアリング株式会社	28,820,000,000 円	19.40

7 総合評価点の算定

非価格要素審査点と価格審査点を合計し、表15のとおり総合評価点を算定した。

表 15 総合評価点の算定結果

グループ名	非価格要素審査点 (A)	価格審査点 (B)	総合評価点 (A) + (B)
サルスベリグループ	33.43	19.40	52.83

8 落札候補者の選定

審議会は、上記の結果に基づき、「サルスベリグループ（代表企業：JFE エンジニアリング株式会社）」を落札候補者として選定した。

9 講評

本事業は、ふじみ衛生組合（以下「組合」という。）の新リサイクルセンターの整備と20年間の維持管理業務をDBM+運転支援方式により実施するものである。また、令和4年4月に施行された「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律（令和3年法律第60号）」に対応し、製品プラスチックの資源化を開始することで効率的な処理及びリサイクル率の向上に寄与することを目的としている。

審査にあたっては、落札者決定基準書に基づき、提案書及び入札価格に対して厳正なる審査を行った結果、JFEエンジニアリング株式会社を代表企業とするサルスベリグループを落札候補者として選定した。

サルスベリグループの提案は、組合が期待する創意工夫と事業の効率性を両立していると評価されたものであり、施設整備基本計画の基本方針の実現を期待させる工夫が随所にわたっていた。

提案の中では特に「代表企業の豊富な建設実績に基づく施工計画ならびに工程を遵守するための具体的な提案」、「災害が生じた際の自主防災体制への速やかな移行や160名超の避難者受入れスペースや防災備蓄品等の具体的な提案」、「処理対象物の特性に配慮した選別方法等の最適化ならびに要求水準を上回る資源化率」、「周辺施設と調和をはじめとした施設デザイン」を高く評価した。一方、審議会においては以下に示す要望事項も挙げられた。

- (1) 提案書等で示された内容は、誠意を持って履行するとともに、施設の機能・性能の向上に努めること。また、事業期間を通じてリサイクル施設を安定稼働させ、周辺環境の保全に努め、地域住民が安心して生活できる施設とすること。
- (2) 組合は30年超の施設維持管理を予定しているため、維持管理・保守管理ノウハウを積極的に活用して施設性能の維持と更なるLCCの低減に努めること。
- (3) 近年、リチウムイオン電池由来の火災により施設が損傷し、ごみ収集への影響が発生している。このため、火災の発生抑制、早期検知、発生時の消火対策について、組合と十分に協議を行い、その実現を図ること。
- (4) 工事の実施にあたっては、周辺住民の安全確保に十分留意し、適切な工事管理を行うこと。さらに、所定の工期を順守し、作業安全や第三者災害の防止に努めること。
- (5) 提案では、状態基準保全やウェアラブルカメラの導入をはじめ、様々な最新システムの活用が予定されている。これらが適切に運用されていることを事業者自ら検証し、その検証結果を適宜組合に報告すること。
- (6) 環境学習・啓発設備については、環境教育の拠点となるよう、コンセプトや方向性、その目的をより明確にし、十分な効果が得られる設備とするため、さらなる検討を行うこと。

- (7) 応募者の提案は創意工夫に富んだ内容であったが、更なる災害対応として、災害時にも安定的にごみ処理を行える強靱な施設を建設すること。また、災害に備え、災害時復旧体制や災害廃棄物仮置計画に基づく訓練を定期的かつ継続的に実施し、組合や両市が管理する他施設との連携も含め、災害時に本施設が果たすべき役割について組合と十分協議すること。
- (8) 教育訓練について、施設に従事する運転員に対して、定期教育の内容の充実と定期教育を補う臨時教育の機会・頻度の拡充を図ること。

本事業は、民間の優れたノウハウを活かす方式の中でも、施設の建設と維持管理を同一者に行わせつつ、運転業務を組合と組合から直接委託を受けた者が実施するものである。長期間に及ぶ施設運営における地元雇用や地元対応に、組合や両市がより積極的に取り組むことができ、かつ組合における運転維持管理に関するノウハウの蓄積をより期待できる全国初となるDBM+運転支援方式での実施となる。サルスベリグループには本事業が優れた先進事例となるよう、上記要望事項等について組合と十分な協議を行い、地域との信頼関係を築きながら、質の高い公共サービスの提供に資することを要望する。

以 上

ふじみ衛生組合リサイクルセンター事業方式及び事業者選定審議会
会 長 橋詰 博樹